

◆避難情報の意味

警戒レベル4 避難指示(緊急)

直ちに避難を《終了》

危険が迫っています。直ちに緊急安全確保を！
避難所への避難が難しい場合は、**建物の2階に緊急退避！**

警戒レベル4 避難勧告

全員避難を《開始》

基本的に安全を確保できる場所へ**全員避難**



警戒レベル3 避難準備 高齢者等避難開始

避難の《準備》

高齢者など避難に時間を要する人は避難し、**要援護者避難支援をする人は行動開始**
その他の人は避難の準備を



*令和3年梅雨期に運用変更予定有

自主避難所の開設

夜間の避難が不安な方を対象に早めの**自主避難**を呼びかけます。

NPO法人わいわいみ・な・み

水害時避難マニュアル 2020



台風など災害時に命を守るための行動を、どうとるのか、地区のみんなで考えたマニュアルです。

まず命を守る行動を、実行するのは自分や家族(自助)です。同時に近隣の人との助け合い(共助)が必要になります。

三原区・川南谷区・桑野本区・大森区・須野谷区エリア

台風など水害に対する防災行動

台風発生

台風発生は、南方の海上沖から、到着まで数日かかるので、情報をしっかり確認する

3~4日前

台風の大きさや雨量などの情報を確認し、避難先(親族や友人、介護事業所等)と連絡を取り合い避難用品の準備、食料以外にも持病の薬などを忘れずに用意する

2日前

市の防災無線などの情報も参考にして、区で以前から相談して決めていた、家族や親戚、介護施設へ台風が来る前に避難する
迷う時は、近所や区長と相談して決めるのも大切

当日

避難所や、近隣の友人宅などへ避難する場合は、明るいうちに避難し、自宅の2階へ避難する場合は、山側の部屋を避けて、安全な場所で過ごす

豊岡市防災課

〈地域から犠牲者を出さないため、基本的な考え方を共有してください〉

風水害の場合、事前に防災マップで自分の住んでいる地域の危険の特性を確認していただき、自分が逃げるべき人なのか留まるべき人なのか、また、避難する場合はどこに避難し、避難経路に危険箇所がないか等を確認しておきましょう。

1. 自宅周囲の道路が冠水するまでに避難することが大原則。避難しようとしたが周囲が冠水して避難できなかったというのは「手遅れ」であるということを確認してください。
2. 避難先は指定緊急避難場所だけではありません。家族や友人、ホテルなど、多様な避難先を選択肢として持っておいて下さい。
3. 例え自宅が浸水したとしても、2階で避難生活がおくれるよう必要なものを備えておいて下さい。
4. 避難行動要援護者の個別支援計画は、まず支援者自身の命、支援者のご家族の命の安全が確保されて初めて取り組まれることに留意してください。あくまで地域の共助というボランティアの心に支えられた取り組みです。できる範囲での支援をお願いします。
5. 避難行動要援護者の避難支援は地域がすべて行わなければならないものではありません。要援護者自身やその家族を通じ、活用可能な人的資源等(家族、知人、普段利用している福祉サービス等)を活用できない場合に支援をいただきたいという考え方です。
6. 私たちがお願いしていることは、地域から一人の犠牲者も出さない、という防災です。「命を守ること」を前提とした取り組みをお願いします。



三原・川南谷・桑野本・大森・須野谷の避難、対策マニュアル

このような人は、こうして対応

1人暮らしの人

隣保ごとに声掛け見守り役を分担、避難時は、みんなで早めに避難

車に乗り合わせて避難

道が塞がる前に、親戚へ避難

避難持ち出し品を用意して備える
見守り担当を決め、避難のタイミングを早めに判断し行動

留守にする時は日頃から近隣に伝えておき、早めに子どもの所へ避難する

日中独居の人

子どもの所へ、早めに行く

日頃から避難方法や行先を家族と相談し、避難準備もしておく

基本、垂直避難だが、日頃から近所と連携しておき、いざという時は避難支援をしてもらう

耳の聞こえない人

事前に避難先やタイミングを支援者に相談する
大事なことは紙に書いて渡す

【非常持ち出し用品】

- ・食料品
パックご飯、缶詰、インスタントラーメン、缶パン、ビスケット、赤ちゃんのいる家庭は粉ミルク、水
- ・衣類
肌着、靴下、毛布、レインコート、タオルなど
- ・救急用品
絆創膏、消毒薬、シップ、高齢者や持病のある人は薬

など

- ・道具類
懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、ガムテープ、携帯電話充電器など



高齢世帯の人

三原の人は、隣保ごとに声掛け見守り役を分担しているので、一緒に早めの避難

桑野本・須野谷の人は、区長や見守り担当者から避難情報を伝え、早めに避難準備

大森の人は、道路などに被害が出る前に桑野本の会館へ早めに避難

*大森区の避難場所は桑野本会館

このような場合は、こうして対応



土石流災害



三原の人は、早めに区長から声をかけて避難
自宅にいるときは2階の山と反対の部屋で過ごす

川南谷の人は、日頃から家族で避難の段取りを決めて道路が塞がる前に避難

大森の人は、土砂崩れで道が、塞がりやすいので崩れる前に桑野本の会館へ避難

須野谷の人は、随音寺が避難場所

【避難所(コミュニティセンター、クリーンパーク)について】

・台風接近時は、大雨が降り始める前に南地区コミュニティセンター、クリーンパーク北但(坊岡)に避難所が開設されます。

川の水位が上昇し、道路に水が溢れている状態や夜暗くなってからの避難は、大変危険です。

豪雨や長雨が続き、木が流れたり土臭い臭いがする、斜面から何かが落ちてくるなど、いつもと違うときは、早めに避難しましょう。

不安を感じたときが避難をするタイミングです。

*避難所には緊急の非常食と水が用意されていますが、アレルギーや体質、病気に食料に対応していないので、各自で必要な食料など用意して下さい。